



リアの壁に取り付けられたDC12V駆動のクーラー。12Vバッテリー搭載の環境では、電気の効率が高く、サブバッテリーだけでしっかりと室内を冷やし、電気変換ロスも抑えます。



助手席の後ろに、バッテリー状態を確認するディスプレイとコンセント、スイッチがまとめられています。車載オーディオをサブバッテリーで稼働させるスイッチも付けられました。



照明はエントランス上部とルーフトップテントの屋根部分に取り付けられています。LEDのダウンライトで、タッチパネル式によってLEDライトを調光できるようになっています。



オプションのオーニングテントをボディへワンタッチで取り付けられるレールがついています。生地のあるロープ部分を溝にスライドしてはめるだけで固定できます。



ルーフトップテント内のフロア前方に、収納ボックスを設置しています。スマホなどの小物をしまっておくのに便利です。室内側には吊り下げ棚が取り付けられ、収納力もアップ。



アマホのために作られたバンパー部分に、外部電源入力コネクターが設置されています。クルマの安全装置として付けられてるコーナーセンサーもバンパー部分へ移植されています。

# AMAHO III

## 【スペック】

名称	ベース車	8	ナンバー	2WD	359	(税込) 万円
AMAHO II (アマホ2)	ダイハツ ハイゼットトラック スタンダード SA11t	4	人乗り	4WD	375	(税込) 万円

- 標準装備**
- 完全開放型ポップアップルーフ
  - リチウムイオンバッテリー×1
  - シャワー
  - シンク
  - ロッドホルダー
  - 調光式ルームランプ
  - 折り畳み式ベッド
  - 折り畳み式テーブル
  - エントランスドア(網戸)
  - リアルウッド
  - ルーフアッパーボックス

**オプション**

窓1か所	¥97,900 (税込) (2か所で¥195,800)
ソーラーパネル 185W	¥107,800 (税込) (370Wで¥215,600)
ソーラーコントローラー	¥53,900 (税込)
リチウムイオンバッテリー 1個追加	¥220,000 (税込)
アルミホイール	¥96,800 (税込)
2000W インバーター	¥118,000 (税込)
リアバゲッジドア	¥159,900 (税込)
外部電源	¥59,000 (税込)
外部充電チャージャー	¥45,000 (税込)
追加コンセント	¥8,500 (税込)
タープテント	¥107,800 (税込)
リチウムイオンバッテリー	¥220,000 (税込)
DCクーラー	¥480,000 (税込)
バッテリー残量計	¥35,000 (税込)



**東海地区最大級! キャンピングカー・車中泊専門店** **全天候型体験・体感ショールーム 雨の日でも大丈夫!**

【 三重本店・CAMPER LOCAL BASE MIE 】

三重県津市河芸町上野 876-1  
Tel:059-253-8888  
FAX:059-253-8787

営業時間：10：00~18：00 定休日：毎週火曜日 第1・3水曜日

【 ショールーム ATSUGI BASE 】

神奈川県厚木市妻田東3丁目 33-10  
Tel:046-244-5517  
FAX:046-244-5527



研ぎ澄まされた **ミニマム** な空間を楽しむ

# シンプルなミニマムであること

コンパクトな軽自動車をベースとしながら、ダイナミックに展開する拡張性がアマホの最大の魅力。その小さなボディのおかげで、狭い道もスイスイと走り抜け、知らない街へたどり着くことも多い。必然的に行動範囲は広がり、オーナーはより積極的になっていくのだ。アマホタイプ3はシンプルなレイアウトで、研ぎ澄まされたミニマムな世界が形作られている。フロントからリアまで伸びた大きなベンチシート、シンプルにまとめられたギャレー、そして、室内を拡張させるポップアップルーフなど、進化した姿がそこにある。クルマを停めて、ポップアップルーフを立ち上げ、ベースキャンピングが完成する。リアゲートを開ければ、目の前の景色は切り取られ、違った表情を見せる。そして、ポップアップルーフのテントを全開にすると、ルーフトップが開放感のあるリビングとなるのだ。夜が更け、アマホ3のブラックボディは暗闇に溶け込んでいく。漆黒のブラックボディがさらに強調され、シンプルであり力強いキャラクターを表しているようでもある。一方でインテリアはウッドに囲まれた優しい空間。最高のいやしをもたらしている。何も考えることなくフィールドでサポートしてくれる相棒、アマホ3はベッドメイクすら必要ない。そのままの状態ですべてが完璧に整っている。進化をし続けるアマホが見せたもう一つの世界、それがこのアマホ3にこめられている、といってもいい。



ポップアップテント部分は、ルーフ全体がフロアとなるので、有効スペースは非常に広がっています。テントはファスナーで簡単にフルオープンすることができ、開放的なスペースとして利用できます。天体観測やフィールドウォッチングには最適な環境です。

リアゲートは大きく開くので、荷物の積み込みや、空気の入替え時に役立ちます。ゲートにはダンパーが取り付けられ、開いた状態で止まるようになっています。アマホ3ではベンチ兼ベッドがゲート付近まで伸びていて、そのままの状態で寝られるようになりました。



落ち着いたカラーで統一されたインテリア。側面の壁はリアルウッドパネルで覆われています。左右にあるアクリル2重窓とルーフトップテントの3方に開かれた窓によって、室内にたくさんの光が差し込み、明るいインテリア空間を作り出しています。



エントランス横にコンパクトにまとめられたギャレーが設置されました。大きな折り畳みテーブルを立ち上げると、テーブルトップの広さが倍に拡張されます。調理の時など、ギャレー回りで作業する際は、広々としたスペースが使いやすさを高めてくれます。

